

令和5年4月1日

医学部医学科生 各位

医学部長 村上 卓道
医学科長 勝二 郁夫

感染対策の徹底について

令和5年度前期授業については、引き続き感染対策を講じたうえで、原則、対面授業により実施予定です。ただ新型コロナウイルス感染症は依然として完全には終息されていない状況であり、学生の皆さんをはじめ関係するすべてのスタッフが感染対策を継続する必要があります。

特に、病院で実習を行っている学生の皆さんは新型コロナウイルスに感染又は濃厚接触者となった場合、患者様、病院スタッフ、周囲の仲間に迷惑を及ぼし、同じ学年全員が予定していた実習に参加できなくなることも考えられます。周囲への適切な配慮は、医師を志す学生の皆さんにとって重要なことですので、互いに気を付けるように心掛けてください。

つきましては、下記の点に留意して、令和5年度前期の授業に臨むようにしてください。

記

- ・学内（実習中を含む）ではしっかりとマスクを着用し、マスク無しでの近距離会話は避ける。（公共交通機関などの学外でも人混みでは着用する。）
- ・マスクはポリウレタンマスクでなく、サージカルマスク（不織布マスク）を着用すること。
- ・エレベーター、更衣室等の密閉された場所では、私語は禁止。
- ・対面授業（講義、実習を含む）を受ける上で、全学年で健康管理票（検温等を含む）の作成を徹底する。その上で、のどの痛みや関節痛などの症状が出た場合は授業に出席しない。
- ・健康管理票の提示（または提出）を求められた際に適切に対応出来ない場合には、当該授業（講義、実習を含む）は欠席とみなされることがあるので、十分留意すること。
- ・食事は密な場所を避け、黙食を徹底する。
- ・飲食中に会話する必要がある際には、飲食を中断し、マスクを着用してから行う。
- ・病院実習の2週間前からは、同居の家族以外の会食や飲み会は避ける。
- ・感染対策が取られていない、あるいは接待を伴う飲食店等は利用しない。

- ・サークル旅行など多人数での集団旅行や課外活動におけるイベント・合宿は十分な感染対策を行うこと。
- ・アルバイトを行う場合も感染対策を行うこと。
- ・利用する部屋は、適宜、換気を行うこと。
- ・出入りの多い部屋のドアの開閉は、肘などで押して入る様にする事。
- ・ワクチン接種後も感染することがあることを念頭に置いて行動すること。
- ・手洗い、手指消毒を忘れずに行うこと。
- ・病院実習の際は、以下の時にも手指消毒を忘れずに行うこと。
 - 1) コンピュータのキーボードなどに触れる前、触れた後
 - 2) ドアノブなど誰でも触れる物に手を触れた後
 - 3) 肩より上に手を挙げる前（髪、眼鏡を直す、顔に触れる）

【問い合わせ先】 神戸大学医学部学務課 078-382-5205

<休日及び土日> 防災センター 078-382-5055